

2010年1月5日

イビデン株式会社 竹中社長の年頭所感

2010年1月5日午前8時より、各事業場に全役員が出向き、社員を前に竹中社長が年頭の挨拶を行いました。また、テレビ会議システムを利用し、海外拠点(フィリピン、北京、フランス、ハンガリー)との新年互礼会も執り行いました。要旨は以下の通りです。

新年明けましておめでとうございます。

昨年は世界的な大不況のなかで大変厳しい1年でしたが、年もあらたまり、新たな決意のもとに新年をお迎えのことと思います。

昨年は「全社緊急対応」、「コスト競争力の強化」、「開発プロジェクトチーム」の3つの対策を実施しました。早期に赤字から脱出し、縮小した市場の中で生き残れる体制をつくり、さらに将来への開発投資を行うという非常に高いレベルの目標に対して、イビデングループの全員が総力を挙げて取り組んだ結果、当初の目標を達成することができました。

2010年の世界経済は新興国が牽引する形で、夏ごろから穏やかな回復に向かうとされています。当社も本年を業績反転のチャンスとして捉え、新たな成長へのスタートの年にしたいと考えています。

そのためにはグローバルな競争力の回復が必要です。海外拠点においては、現地の競争力強化と顧客へのサポート力の向上を目指します。具体的には、販売会社と生産拠点の一体的な運営によって意思決定のスピードアップを図ります。国内拠点においては、日本で生き残れるものづくり力の構築を進めます。「TPM 活動の一段の進化」、「低コスト化技術」、「良品を作る技術」、「省エネ・省資源の技術」など、ものづくりを根底から強くするための生産技術や環境技術を組織的に強化します。「顧客満足度 No. 1」の観点から、最適な事業構造に改革していきます。

2010年は以上の構造改革に早急に取り組み「国際競争力」の格段のアップにつなげていきたいと思ひます。グループ社員全員の協力をお願いします。

以上

